



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠エネクス株式会社
コード番号 8133 URL <https://www.itcenex.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉田 朋史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CCO(兼)CFO補佐 (氏名) 井上 慎一郎 TEL 03-4233-8008
(兼)コーポレート第1部門副部門長
(兼)財務経理部長

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前四半期利益		四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	455,635	△8.8	15,885	46.7	15,430	31.1	10,418	28.0	8,917	28.5	11,230	27.2
2023年3月期第2四半期	499,522	25.5	10,830	18.5	11,771	19.8	8,139	18.3	6,939	25.5	8,830	31.8

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	79.01	—
2023年3月期第2四半期	61.47	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	426,551	187,839	159,783	37.5
2023年3月期	433,024	180,328	152,961	35.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	24.00	—	26.00	50.00
2024年3月期	—	26.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前利益		当社株主に帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200,000	18.6	20,900	△2.2	22,300	△3.2	13,500	△2.4	119.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	116,881,106株	2023年3月期	116,881,106株
2024年3月期2Q	3,996,873株	2023年3月期	4,025,827株
2024年3月期2Q	112,863,483株	2023年3月期2Q	112,884,531株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) セグメント情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日）における日本経済は、国内における石油製品や電力等のエネルギー価格の高騰は落ち着きを取り戻しつつありますが、地政学リスクの高まりや為替の影響等、将来の見通しについては今後更なる不透明な状況が続く事が予想されます。

このような中、当社グループでは、2023年4月に中期経営計画『ENEX2030』を新たに策定いたしました。

中期経営計画の概要

ENEX2030

くらしの原動力を創る

生活や産業へ多様なエネルギー・サービスを提供し
更なる成長・変革へ挑戦する

1. 計画名称：

2. 期間：8ヵ年（2023年度～2030年度）

3. 中期経営計画『ENEX2030』概要：

1) 目指す方向性

①現場力の増強

- ・既存事業における顧客基盤の更なる充実と収益性の向上
- ・グループ・コミュニケーション向上、総合力を高め、現場力強化

②投資実行の加速

- ・投資推進体制の構築による投資の加速
- ・新規・戦略投資2,100億円

2) 経営目標

(財務指標)

- ①当期純利益200億円以上、②実質営業キャッシュ・フロー（※1）450億円、③ROE9.0%以上、④新規戦略投資（8年累計）2,100億円

(非財務指標)

- ①GHG排出量50%以上削減（2018年度比 Scope 1. 2）、②女性採用比率30%以上、③女性管理職比率10%、④男性育休取得率80%以上

4. 中期経営計画『ENEX2030 '23-'24（2023-2024）』の概要

1) 位置づけ：“2030年目指す姿”実現に向け、現場力強化、収益基盤強化により成長戦略実現への体制構築

2) 主な取り組み：①現場力の強化 ②投資実行体制の進化 ③組織・人材の強化

3) 経営目標

(財務指標)

- ①当期純利益135億円（'23-'24年度）、②実質営業キャッシュ・フロー每期350億円、③ROE8～9%（'23-'24年度）、④累計投資額600億円（内CAPEX160億円）

(株主還元)

連結配当性向40%以上を強く意識した上で、累進配当を実施

（※1）実質営業キャッシュ・フローとは、営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等を除いたものです。

以上の新たな中期経営計画のもと、事業を推進し、当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	499,522	455,635	△43,887
営業活動に係る利益	10,830	15,885	5,055
当社株主に帰属する四半期純利益	6,939	8,917	1,978

売上収益は4,556億3千5百万円（前年同期比8.8%の減少）となりました。これは主に、原油価格およびLPガス価格の下落に伴う販売価格の下落によるものです。

営業活動に係る利益は158億8千5百万円（前年同期比46.7%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は89億1千7百万円（前年同期比28.5%の増加）となりました。これは主に、産業ビジネス事業における前年同期に好調であった反動及びホームライフ事業における在庫単価変動の利幅への影響による減益があったものの、電力小売事業及び自動車ディーラー事業による貢献と、資産入れ替えの為に固定資産の売却による一過性の利益があったことによるものです。

② 当期のセグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

【ホームライフ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	35,085	28,373	△6,712
営業活動に係る利益 又は損失(△)	242	△418	△660
当社株主に帰属する四半期純利益 又は損失(△)	583	△653	△1,236

〔LPガス事業〕直売顧客軒数は新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、約573千軒（前期末比約8千軒増加）となりました。LPガス販売数量は、平均気温が前年同期を上回ったこと等が影響し、前年同期を下回りました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は283億7千3百万円（前年同期比19.1%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格の下落により販売価格が前年同期を下回ったことによるものです。

営業活動に係る損失は4億1千8百万円（前年同期は2億4千2百万円の利益）、当社株主に帰属する四半期純損失は6億5千3百万円（前年同期は5億8千3百万円の利益）となりました。これは主に、LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅へのマイナス影響によるものです。

【カーライフ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	273,440	298,388	24,948
営業活動に係る利益	4,391	7,013	2,622
当社株主に帰属する四半期純利益	2,365	3,831	1,466

〔CS（※2）事業〕CS数は前期末より20ヵ所減少し、1,590ヵ所となりました。石油製品の販売数量は、新型コロナウイルス感染症による影響緩和で石油製品の需要が回復傾向にあり、前年同期を上回りました。

〔自動車関連事業〕自動車ディーラー事業を行っている子会社の大阪カーライフグループ㈱において、半導体の供給回復により新車販売台数が好調に推移し、全体の販売台数は前年同期を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は2,983億8千8百万円（前年同期比9.1%の増加）となりました。これは主に、石油製品の販売数量増加によるものです。

営業活動に係る利益は70億1千3百万円（前年同期比59.7%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は38億3千1百万円（前年同期比62.0%の増加）となりました。これは主に、自動車ディーラー事業における新型車の販売が好調に推移したことと、CS跡地の売却に伴う一過性の利益（営業活動に係る利益に与える影響は15億3千4百万円）によるものです。

（※2）CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所です。

【産業ビジネス事業】

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	136,469	67,583	△68,886
営業活動に係る利益	5,011	1,474	△3,537
当社株主に帰属する四半期純利益	3,456	1,072	△2,384

〔船舶燃料販売事業〕外航船向けの取引が一部縮小したことにより、販売数量は前年同期を下回りました。

〔環境関連事業〕AdBlue®（※3）は販路開拓が順調に進んだことにより、販売数量は前年同期を上回りました。

〔アスファルト販売事業〕新たな商権獲得等により、販売数量は前年同期を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は675億8千3百万円（前年同期比50.5%の減少）となりました。これは主に、原油価格の下落に伴う販売価格の下落や販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は14億7千4百万円（前年同期比70.6%の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は10億7千2百万円（前年同期比69.0%の減少）となりました。これは主に、産業ガス事業が好調に推移したものの、前年同期に好調であった流通ターミナル事業や船舶燃料販売事業等の反動によるものです。

（※3）AdBlue®とは、ディーゼル車の排気ガスを分解して無害化する際に使われる世界標準の高品位尿素水。（*AdBlueはドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。）

【電力・ユーティリティ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	54,528	61,291	6,763
営業活動に係る利益	807	7,352	6,545
当社株主に帰属する四半期純利益	323	4,435	4,112

〔電力小売事業〕 低圧販売において新規契約の獲得により、低圧の販売数量は前年同期を上回りましたが、高圧販売において採算販売を行ったことにより、販売数量全体は前年同期を下回りました(※4)。当社グループ全体の電力小売顧客件数は321千件(前期末比約13千件減少)となりました。

〔熱供給事業(※5)〕 平均気温が前年同期を上回ったことに伴う空調利用の増加により、販売熱量は前年同期を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は612億9千1百万円(前年同期比12.4%の増加)となりました。これは主に、資源価格の高騰を受けた販売価格の上昇によるものです。

営業活動に係る利益は73億5千2百万円(前年同期は8億7百万円の利益)、当社株主に帰属する四半期純利益は44億3千5百万円(前年同期は3億2千3百万円の利益)となりました。これは主に、販売価格改定による電力小売事業の貢献と大規模太陽光発電所(メガソーラー)の売却による一過性の利益(営業活動に係る利益に与える影響は50億1千9百万円)によるものです。

(※4) 電力小売事業の販売数量は高圧・低圧ともに取次数量を含みます。

(※5) 熱供給事業とは、熱源プラントから複数の建物、オフィスビル等に、冷房・暖房等に使用する冷水・温水を導管で供給する事業です。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び資本の状況】

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	増減
資産合計	433,024	426,551	△6,473
負債合計	252,696	238,712	△13,984
資本合計	180,328	187,839	7,511

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して64億7千3百万円減少し、4,265億5千1百万円となりました。これは主に、固定資産の売却により有形固定資産が199億8百万円減少したことと、売却により得た現金を借入金の返済並びに親会社への預け金に充当したこと等により、現金及び現金同等物が82億2千2百万円減少、その他の短期金融資産が235億9千4百万円増加したことによるものです。また負債合計は、前連結会計年度末と比較して139億8千4百万円減少し、2,387億1千2百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が113億7千3百万円減少したことによるものです。資本合計は、当社株主に帰属する四半期純利益による89億1千7百万円増加及び配当金支払いによる37億5千1百万円減少等により前連結会計年度末と比較して75億1千1百万円増加の1,878億3千9百万円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当社グループでは、コア事業から生みだされたキャッシュ・フローをもとに周辺事業の拡大や新たな事業領域への積極的な投資を推進できる体制を維持しております。

当面の資金調達余力につきましては、潤沢な現金及び現金同等物に加え、十分な当座貸越枠並びに社債(CP)発行枠を確保しております。また、これまでも健全な水準を維持してきたネットDERは△0.13倍となっております。

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	11,852	12,489	637
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,507	461	5,968
(フリー・キャッシュ・ フロー)	(6,345)	(12,950)	(6,605)
財務活動による キャッシュ・フロー	△14,813	△21,224	△6,411
現金及び現金同等物の増減 額	△8,468	△8,274	194
為替相場の変動による現金 及び現金同等物への影響額	35	52	17
現金及び現金同等物の四半 期末残高	29,712	23,791	△5,921

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して82億2千2百万円減少の237億9千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	2022年度第2四半期 連結累計期間	2023年度第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	11,852	12,489	637
運転資金等の増減	△7,046	△144	6,902
実質営業キャッシュ・ フロー(※6)	18,898	12,633	△6,265

(※6) 営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等（営業債権の増減、棚卸資産の増減、営業債務の増減、その他一純額）を除いたものです。

営業活動の結果得られた資金は124億8千9百万円となりました。主な要因は、税引前四半期利益154億3千万円、減価償却費及び償却費104億9千9百万円、固定資産に係る損益65億1千6百万円、法人所得税の支払額80億3千7百万円によるものです。なお、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で6億3千7百万円増加しております。また、実質営業キャッシュ・フローにつきましては前年同期比で62億6千5百万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、これまでも投資戦略に基づき常に資本効率を意識した投資を進めております。

投資活動の結果得られた資金は4億6千1百万円となりました。主な要因は、大規模太陽光発電所（メガソーラー）を中心とした有形固定資産及び投資不動産の売却による収入268億7千2百万円、余剰資金の親会社への預け金の増加による支出200億円、有形固定資産及び投資不動産の取得による支出52億8千6百万円によるものです。なお、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で59億6千8百万円増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、企業価値向上に向けグループ全体での財務活動の効率化を目指し、グループ金融制度(※7)により財務マネジメントを強化しております。

財務活動により支出した資金は212億2千4百万円となりました。主な要因は、社債及び借入金の返済額112億2千万円、リース負債の返済による支出56億6千1百万円、当社株主への配当金の支払額29億3千8百万円によるものです。なお、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で64億1千1百万円減少しております。

(※7) グループ金融制度とは、グループ間で資金を融通しあうことで資金管理・調達コストを効率化する制度です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2023年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,013	23,791
営業債権	115,920	109,277
その他の短期金融資産	14,251	37,845
棚卸資産	26,176	30,367
未収法人所得税	100	188
前渡金	907	81
その他の流動資産	1,774	1,974
流動資産合計	191,141	203,523
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	31,762	32,221
その他の投資	3,442	3,735
投資以外の長期金融資産	11,508	8,456
有形固定資産	149,920	130,012
投資不動産	12,732	13,194
のれん	521	521
無形資産	20,237	21,371
繰延税金資産	9,354	12,071
その他の非流動資産	2,407	1,447
非流動資産合計	241,883	223,028
資産合計	433,024	426,551

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2023年9月30日)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
社債及び借入金（短期）	7,026	1,754
営業債務	114,818	115,195
リース負債	10,415	9,313
その他の短期金融負債	5,134	5,296
未払法人所得税	4,748	4,710
前受金	11,031	11,888
その他の流動負債	12,951	10,317
流動負債合計	166,123	158,473
非流動負債		
社債及び借入金（長期）	7,101	1,000
リース負債	47,263	47,926
その他の長期金融負債	15,454	15,083
退職給付に係る負債	10,344	10,484
繰延税金負債	759	815
引当金	5,515	4,790
その他の非流動負債	137	141
非流動負債合計	86,573	80,239
負債合計	252,696	238,712
資本		
資本金	19,878	19,878
資本剰余金	19,014	19,015
利益剰余金	115,899	121,810
その他の資本の構成要素	66	945
自己株式	△1,896	△1,865
株主資本合計	152,961	159,783
非支配持分	27,367	28,056
資本合計	180,328	187,839
負債及び資本合計	433,024	426,551

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	499,522	455,635
売上原価	△455,538	△412,697
売上総利益	43,984	42,938
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△33,312	△33,918
固定資産に係る損益	△145	6,516
その他の損益	303	349
その他の収益及び費用合計	△33,154	△27,053
営業活動に係る利益	10,830	15,885
金融収益及び金融費用		
受取利息	17	42
受取配当金	49	90
支払利息	△409	△364
その他の金融損益	15	△380
金融収益及び金融費用合計	△328	△612
持分法による投資損益	1,269	157
税引前四半期利益	11,771	15,430
法人所得税費用	△3,632	△5,012
四半期純利益	8,139	10,418
四半期純利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期純利益	6,939	8,917
非支配持分に帰属する四半期純利益	1,200	1,501
計	8,139	10,418

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
その他の包括利益 (税効果控除後)		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCI金融資産	△17	369
持分法適用会社におけるその他の包括利益	△42	155
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	28	21
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	200
持分法適用会社におけるその他の包括利益	722	67
その他の包括利益 (税効果控除後) 計	691	812
四半期包括利益	8,830	11,230
四半期包括利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期包括利益	7,630	9,728
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,200	1,502
計	8,830	11,230

(単位：円)

1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		
基本的	61.47	79.01
希薄化後	—	—

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2022年4月1日残高	19,878	18,990	107,617	△315	△1,871	144,297	26,901	171,198
四半期純利益			6,939			6,939	1,200	8,139
その他の包括利益				691		691	0	691
四半期包括利益			6,939	691		7,630	1,200	8,830
所有者との取引額								
配当金			△2,825			△2,825	△1,660	△4,485
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			6	△6		-		-
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
株式に基づく報酬取引		△1			17	16		16
2022年9月30日残高	19,878	18,989	111,736	370	△1,854	149,119	26,441	175,560

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2023年4月1日残高	19,878	19,014	115,899	66	△1,896	152,961	27,367	180,328
四半期純利益			8,917			8,917	1,501	10,418
その他の包括利益				811		811	1	812
四半期包括利益			8,917	811		9,728	1,502	11,230
所有者との取引額								
配当金			△2,938			△2,938	△813	△3,751
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			△68	68		-		-
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
株式に基づく報酬取引		1			31	32		32
2023年9月30日残高	19,878	19,015	121,810	945	△1,865	159,783	28,056	187,839

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	11,771	15,430
減価償却費及び償却費	11,160	10,499
固定資産に係る損益	145	△6,516
金融収益及び金融費用	328	612
持分法による投資損益	△1,269	△157
営業債権の増減	14,134	6,664
棚卸資産の増減	△5,467	△4,186
営業債務の増減	△13,366	354
その他－純額	△2,347	△2,976
配当金の受取額	644	1,089
利息の受取額	17	42
利息の支払額	△447	△329
法人所得税の支払額	△3,569	△8,037
法人所得税の還付額	118	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,852	12,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の取得による支出	△1,394	△1,923
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の売却及び償還による収入	441	631
貸付による支出	△430	△124
貸付金の回収による収入	406	98
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△6,407	△5,286
有形固定資産及び投資不動産の売却による収入	104	26,872
無形資産の取得による支出	△930	△2,854
無形資産の売却による収入	2	280
預け金の増減－純額	—	△20,000
その他－純額	2,701	2,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,507	461

(単位：百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び借入金による調達額	50	500
社債及び借入金の返済額	△14,936	△11,220
リース負債の返済による支出	△5,778	△5,661
短期借入金の増減－純額	10,336	△709
当社株主への配当金の支払額	△2,825	△2,938
非支配持分への配当金の支払額	△1,660	△813
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他－純額	－	△383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,813	△21,224
現金及び現金同等物の増減額	△8,468	△8,274
現金及び現金同等物の期首残高	38,145	32,013
為替相場の変動による現金及び現金同等物への影響額	35	52
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,712	23,791

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	35,085	273,440	136,469	54,528	499,522	—	499,522
セグメント間収益	157	3,840	4,908	1,390	10,295	△10,295	—
売上収益合計	35,242	277,280	141,377	55,918	509,817	△10,295	499,522
売上総利益	8,306	23,820	8,373	3,485	43,984	—	43,984
営業活動に係る利益	242	4,391	5,011	807	10,451	379	10,830
税引前四半期利益	1,046	4,263	4,989	1,110	11,408	363	11,771
当社株主に帰属する 四半期純利益	583	2,365	3,456	323	6,727	212	6,939
その他の項目							
資産合計	63,238	155,501	69,893	118,329	406,961	23,677	430,638

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額212百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額23,677百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	28,373	298,388	67,583	61,291	455,635	—	455,635
セグメント間収益	278	3,469	2,347	208	6,302	△6,302	—
売上収益合計	28,651	301,857	69,930	61,499	461,937	△6,302	455,635
売上総利益	7,260	25,517	4,726	5,435	42,938	—	42,938
営業活動に係る利益 又は損失(△)	△418	7,013	1,474	7,352	15,421	464	15,885
税引前四半期利益又 は損失(△)	△679	6,916	1,556	7,206	14,999	431	15,430
当社株主に帰属する 四半期純利益又は損 失(△)	△653	3,831	1,072	4,435	8,685	232	8,917
その他の項目							
資産合計	59,556	172,500	64,990	87,929	384,975	41,576	426,551

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額232百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額41,576百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

前連結会計年度末（2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
資産合計	69,824	163,242	57,633	114,113	404,812	28,212	433,024

(注) 資産合計の調整額28,212百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前第3四半期連結会計期間において、当社の子会社である伊藤忠工業ガス株式会社を「産業ビジネス事業部門」に移管しました。これに伴い、従来「ホームライフ事業部門」に含まれていた伊藤忠工業ガス株式会社の事業を「産業ビジネス事業部門」に含めて記載する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間において、商流変更等に伴い、報告セグメントの区分方法を見直したことによって、「産業ビジネス事業部門」に含まれていた一部の石油関連取引の区分を「カーライフ事業部門」に変更した他、「カーライフ事業部門」に含まれていたLNG関連取引の区分を「産業ビジネス事業部門」に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度末のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により組替えて表示しております。